



葎山南小学校
学校だより



発行 令和7年 2月 第10号

「地域に信頼され、地域とともにある学校」をめざして

「ありがとう」の言葉で笑顔あふれる学校地域をめざして 校長 土屋 貴俊

子供たちからいろいろな場面で「ありがとう」の言葉をたくさん聞くことができます。例えば、○授業の終わりに○修学旅行等でバスから降りる際に○休み時間運動場で転がってきたボールを返して○授業中前の席の友達からプリントをもらって○友達が落とした消しゴムを拾って○横断歩道で自動車が止まって○下校時の見守りボランティアさんに等、学校では友達にも教職員にも「ありがとう」が言える子供たちです。地域やご家庭ではどうでしょうか。

「ありがとう」の反対の言葉は「あたり前」です。「ありがとう」を漢字で書くと「有難う」になります。「有る」ことが「難しい」、つまり、「滅多にない」「珍しくて貴重だ」という意味だそうです。だから「有難う」の反対は「あたり前」になるということです。「～さんの仕事だから～さんがやってあたり前」とか、「お金を払っていることだから～してもらってあたり前」などと考えず、もう一度日常のあたり前をふり返り、してもらっていることに感謝の思いがもてると優しい社会につながるのではないかと思います。

また、「ありがとう」は、何気ない言葉ですが、言われるとうれしくなる人が多いのではないのでしょうか。それは、感謝の思いを伝えることで、相手のしていること（仕事）を認め自分が喜んでいる気持ちを表すことができます。言われた側は、他者に役立っていることを実感（自己有用感）し、自己肯定感も高まっていきます。自分では「これで十分かな」「満足してもらえているかな」と不安に感じていたことも、言葉にして伝えてもらうことで自信につながり、安心にもつながります。本校の学校教育目標「ともに高め合うきららの子」のとおり、「ありがとう」の一言で輝く笑顔になり互いの気持ちを高め合うことにもつながります。自分から積極的に学校でも地域でも「ありがとう」を伝えていく子供に育ててほしいと願っています。ご家庭や地域においてもご協力をお願いします。

1年生の金井菜穂さんの書いた「ありがとう」の手紙を紹介します。私たちの安心安全な生活につながっている「狩野川放水路」について感謝の言葉を綴っています。

狩野川放水路をつくった人たちへ
金井 菜穂

狩野川は、花火大会も行われる私の大好きな場所です。でも、夏休みに参加した狩野川放水路見学で私が生まれる前の狩野川は、大雨が降ると水があふれ、たくさんの方の命が奪われたと知りました。

そして、私たちの命を守るためにみなさんが長い時間をかけて狩野川放水路をつくったと聞きました。近くで見た放水路は外から見ると、ずっと大きくてびっくりしました。

みなさんのおかげで、私たちは今安心して暮らすことができている。これからも災害に備えることを忘れずに狩野川と生きていきます。いつも私たちの命を守ってくれてありがとうございます。

©ファミリーマート 主催
ありがとうの手紙コンテスト
低学年の部 最優秀賞